

# テネシー訪問記

**大西 弘明** アクチノイド化合物磁性・超伝導研究グループ  
Hiroaki Onishi Research Group for Magnetism and  
Superconductivity in Actinide Compounds



アトランタのターナーフィールドスタジアムにて

2007年、夏。海外生活への強い期待と不安が入り交じり、気持ちが高ぶるのを感じながら、アメリカ合衆国テネシー州のオークリッジ国立研究所 (Oak Ridge National Laboratory, ORNL) に向かいました。海外の研究所でまるまる一年間過ごせるというまたとない機会を得て、意気軒昂として東海村を後にしたわけですが、到着して早々、ノックスビル空港でロストバゲッジの洗礼をくらいました。(その日の夜のうちに仮住まいのホテルに届けてもらえて一安心

でした。) さらに追い打ちをかけるように、空港からホテルにレンタカーで向かう道中にタイヤがパンクしてしまい、難儀しました。こうして、いきなり手荒い歓迎を受けて、やれやれだぜ・・・とため息をつきながらも、これもまた冒険! と心躍る気持ちで、テネシーでの新生活がスタートしたのでした。

さて、ORNLがあるテネシー州オークリッジは、米国南東部、アパラチア山脈の麓に位置し、研究施設のために開発された田舎町で、東海村にどこか似た雰囲気があります。那珂市の姉妹都市でもあり、親近感を感じさせるところです。テネシー州最大の都市は、ブルース発祥の地として有名なメンフィスですが、同州内でも600km以上離れた遠方の地で、一度も訪れる機会はありませんでした。周辺の大きな都市といえば、おとなりジョージア州のアトランタまでは300km程度で、車で比較的容易に行けます。実際、メジャーリーグのアトランタ・ブレーブズ vs イチロー属するシアトル・マリナーズの試合があるということで、友人と一緒に観戦に赴きました。自身が海外生活で苦勞する中、異国の地で活躍する日本人選手の勇姿を目前に見て、感慨もひとしおでした。

ORNLでは、時間依存密度行列繰り込み群法という新しい数値計算手法を用いて、強相関電子系のダイナミクス解明の研究プロジェクトに携わりました。これまで先端基礎研究センターで進めてきた研究を発展させる形で、新しい研究テーマに取り組み、思う存分研究に専念することができ、充実した研究生生活を送ることができました。また、研究室のメンバーや現地の人、オークリッジ・ノックスビル近郊の在外日本人など、いろいろな人と交流して知り合いになりました。所属していた Elbio Dagotto 研究室には、ボスがアルゼンチン人なのをはじめとして、ドイツ、スペイン、ブラジル、中国、オーストリアといった多国籍からのポストドク研究員が在籍していました。研究のディスカッション以外にも、異文化の話題、スポーツの話題で盛り上がり、和やかな雰囲気楽しく過ごせました。こうした同研究分野の海外研究者たちとの人脈を築けたことは、今後の研究活動にとっても非常に有益なことだと思います。

一年という限られた期間の滞在でしたが、右も左も分からない全く新しい環境で、いろいろなことにチャレンジして、貴重な経験を積むことができました。今回の渡航にあたり、グループの堀田さん、久保さん、金子さん、受け入れ先の Elbio Dagotto さんをはじめ、多くの方々にお世話になりました。心より感謝いたします。長寿と繁栄を。